【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成24年2月2日(2012.2.2)

【公表番号】特表2011-509651(P2011-509651A)
【公表日】平成23年3月31日(2011.3.31)
【年通号数】公開・登録公報2011-013
【出願番号】特願2010-540156(P2010-540156)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　1/16　(2006.01)
Ａ２３Ｋ　1/16　(2006.01)
Ａ２３Ｌ　1/30　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/99　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　36/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　29/00　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ｃ１２Ｒ　1/865　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　1/16　ＺＮＡＧ
Ｃ１２Ｎ　1/16　Ｇ
Ａ２３Ｋ　1/16　３０４Ｂ
Ａ２３Ｌ　1/30　Ｚ
Ａ６１Ｋ　8/99
Ａ６１Ｋ　35/72
Ａ６１Ｐ　1/00
Ａ６１Ｐ　29/00
Ｃ１２Ｎ　15/00　Ａ
Ｃ１２Ｎ　1/16　Ｇ
Ｃ１２Ｒ　1:865

【手続補正書】
【提出日】平成23年12月6日(2011.12.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
受託番号Ｎｏ．ＣＮＣＭ　Ｉ－３８５６の下にCollection Nationale de Cultures de Microorganismesに寄託されたSaccharomyces cerevisiae株または受託番号Ｎｏ．ＣＮＣＭ　Ｉ－３７９９の下にCollection Nationale de Cultures de Microorganismesに寄託されたSaccharomyces cerevisiae var. boulardii株。
【請求項２】
請求項１に記載された株から得られるSaccharomyces cerevisiae酵母またはSaccharomyces cerevisiae var. boulardii 酵母。
【請求項３】
請求項２における酵母；および／または酵母抽出物、酵母細胞壁誘導体、酵母細胞壁グルカン、酵母細胞壁マンノプロテイン、脂質酵母画分、酵母核酸（ＲＮＡ、ＤＮＡ）画分

から選択される少なくとも１つのSaccharomyces cerevisiae酵母誘導体；を含有することを特徴とする組成物。
【請求項４】
請求項３において、前記酵母が乾燥形態または新鮮形態であることを特徴とする組成物。
【請求項５】
請求項４において、前記酵母が瞬間乾燥形態または活性乾燥形態であることを特徴とする組成物。
【請求項６】
請求項３～５のいずれか一項において、請求項２における酵母；および／または酵母抽出物、酵母細胞壁誘導体、酵母細胞壁グルカン、酵母細胞壁マンノプロテイン、脂質酵母画分、酵母核酸（ＲＮＡ、ＤＮＡ）画分から選択される少なくとも１つのSaccharomyces cerevisiae酵母誘導体；を10^{7}～6×10^{10}ＣＦＵで、含有することを特徴とする組成物。
【請求項７】
請求項３～５のいずれか一項において、１ｍｇ～１０ｇの請求項２における酵母；および／または酵母抽出物、酵母細胞壁誘導体、酵母細胞壁グルカン、酵母細胞壁マンノプロテイン、脂質酵母画分、酵母核酸（ＲＮＡ、ＤＮＡ）画分から選択される少なくとも１つのSaccharomyces cerevisiae酵母誘導体；を含有することを特徴とする組成物。
【請求項８】
ヒトおよび／または動物用の、補助食品および／またはプロバイオティックおよび／または医療食品および／または栄養補助食品および／または機能性成分および／または薬用化粧品および／または医薬有効成分を調製するための、請求項３～７のいずれか一項における組成物の使用。
【請求項９】
胃腸の快適性を改善するおよび／または腸内菌叢を改善することを目的とした食品組成物を調製するための、請求項３～７のいずれか一項の組成物の使用。
【請求項１０】
腸の障害、腸の機能障害または胃腸疾患を治療および／または予防することを目的とした薬剤を調製するための、請求項３～７のいずれか一項の組成物の使用。
【請求項１１】
痛覚過敏の状態によって示される腸の病変または障害を治療および／または予防することを目的とした薬剤を調製するための、請求項３～７のいずれか一項の組成物の使用。
【請求項１２】
請求項８～１１のいずれか一項において、前記酵母が乾燥形態または新鮮形態である組成物の使用。
【請求項１３】
請求項１２において、前記酵母が瞬間乾燥形態または活性乾燥形態である組成物の使用。
【請求項１４】
請求項８～１１のいずれか一項において、１日用量で前記酵母および／または酵母誘導体が10^{7}～6×10^{10}ＣＦＵ含有される組成物の使用。
【請求項１５】
請求項８～１１のいずれか一項において、１日用量で前記酵母および／または酵母誘導体が１ｍｇ～１０ｇ含有される組成物の使用。
【請求項１６】
経口投与に適した形態で、請求項２における酵母；および／または酵母抽出物、酵母細胞壁誘導体、酵母細胞壁グルカン、酵母細胞壁マンノプロテイン、脂質酵母画分、酵母核酸（ＲＮＡ、ＤＮＡ）画分から選択される少なくとも１つのSaccharomyces cerevisiae酵母誘導体；を含むキット。